

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-53-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

院議会議員として、この二年数ヶ月、三條別院の議会に関わらせていただきましたが、それまでは全くといっていいほど別院とは無関係でした。記憶に残っているのは、それこそ二十歳の頃の得度の考查の時くらいのものです。

しかし、毎週のように別院の本堂に上がり込んでいた時期がありました。私は小学校教員として、昭和五十五年四月から五十八年の三月までの三年間は、別院近くのある小学校に勤務していました。小学校の教科の中には「図画工作」（略して図工）という時間があります。その図工の時間になると、子どもたちを引き連れてよく別院にやってきました。そして、本堂の古い感じの木造建築を絵に表していました。自分でも、向拝柱の根巻金具を絵に表していたことを記憶しています。そのころの教務所はたしか松葉幼稚園の方にあつたように思います。本寺小路や昭栄通りが賑やかなりし頃で、夜な夜なそっちの方ばかり行っていました。

三條別院は教務所のホームページによると、「元禄三年（一六九〇年）三條の地に創立され、越後門徒の総力で七堂伽藍が完備し、北陸随一

の別院と称されました。しかしながら、その後、二度の大火にみまわれ焼失し、現在の本堂は明治三十九年（一九〇六年）に建立されたものであります。現在も、南は柏崎から北は村上にいたる五百ヶ寺におよぶご寺院とご門徒の念仏求道の中心道場として崇敬護持され、社会に開かれた別院として歩みを続けています」とあります。きつと、私の先祖も、自坊のご門徒さんも、「ごぼさま」には、吉田からは近いから、昔は歩いてでもお参りしたに違いありません。榎本栄一の「私がここまでくるには目に見えぬ案内人がいた」という言葉を思い出します。私もお参りしていききたいと思えます。

（第十六組存念寺 小原秀一氏）

○次回の「三條別院に想う」は、

塚本 智光氏

（第十八組 等連寺住職）

よりご執筆いただきます

■朝の人生講座が開催されました

去る八月二十二日～二十五日まで、毎年恒例の「朝の人生講座」が開催されました。朝六時からの晨朝のお勤めの後、「夏の御文」が拝読され、教区内で活躍する講師陣による法話をいただきました。二十二日は多



【多田 修氏】

田修氏（第二十組照覺寺）、二十三日は関崎智弥氏（第十八組重蓮寺）、二十四日は齊藤 研氏（第十五組正楽寺）、二十五日は中島義紘氏（真宗学院卒業生）による法話で、毎日五十名近い参詣をいただきました。人生講座は、別院行事の中でも町の方々に多くご参詣いただいている行事です。二十三日の関崎氏が「臨床宗教師」の講習での他宗派の僧侶との交流体験について語られたように、「浄土真宗」という「宗派」の枠を超えて、仏教を学び・伝える時代なのではないでしょうか。九月にも人生講座が開かれますので、是非ご参詣ください。



【上から関崎氏、齊藤氏、中島氏】

■秋彼岸会（教如上人四〇〇回忌法要）のご案内

下記の期日に、当別院にて秋彼岸会を厳修いたします。

また、本年は戦乱の世に生きた東本願寺創立者である教如上人の四百回忌にあたります。当別院では、秋彼岸会期間中に一昼夜法要を厳修し、あらためて東本願寺創立以来の歴史を学び、これからの歩むべき道を考えて参りたく存じます。

また、朝の人生講座も例年通り行います。秋彼岸期間中の午前六時からお勤め、法話があります。おにぎりとお茶を用意してお待ちしております。

◆秋彼岸会日時

九月二十四日（火）～二十六日（木）

◇秋彼岸告知イベントとしてアマチュアバンドによる往年のフォークソングの演奏、NIIIGATA FOLK ジャンボリーが九月二十三日（祝）午後一時より行われます（入場無料）



【フォークジャンボリーは県内各所で行われ9月23日に当別院が会場となる】

◇二十五日速夜法要後には教学研究所属託研究員の上場 顯雄氏をお招きして「教如上人と信長・秀吉・家康―東西分派―」の講題で記念法話をいただきます。

◇九月二十四日（火）～二十六日（木）の午前十時～午後四時まで、旧御堂にて東日本大震災復興支援チャリティーバザーを開催します。

◇九月二十日～二十八日まで三条商工会議所主催で「本寺小路あかり物語」として本堂のライトアップが行われます。

※詳細は既送の案内チラシをご覧ください。

■別院声明教室のご案内

今期の声明教室が、八月から始まりました。門徒の朝夕のお勤め、得度考査の内容の講習です。参加者を継続して募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 九月十八日（水）、十月二十二日（木）十一月十九日（火）、十二月十八日（水）

◇時間 午後六時より午後八時まで

◇会場 教区同朋会館（三条別院内）

◇講習内容 正信偈 草四句目下

念仏讚 洵三

和讚 弥陀成仏のこのかたは

次第第六首

回向 願以此功德

◇講師 島津 崇之氏（第十八組 満行寺）

◇持ち物 『真宗大谷派勸行集』または『大谷聲明集上』、念珠、筆記具

◇参加費 五〇〇円／回

■真宗本願御正忌団体参拝について

二条別院では、本年も本山、東本願寺御正忌報恩講の団体参拝を行います。

◇期日 十一月二十七日（水）～二十九日（金）

◇参加費 五〇、〇〇〇円

■御命日（二十八日）の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【九月二十八日（土）】

午前十時 お勤め（御命日） 日中法要

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讚 回口 次第第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

窪 智至氏（第二十組 常明寺）

◇今後の講師一覧

十月 長尾 豊隆氏（第十組 淨覺寺）

十一月 關根 大丘氏（第二十組 松韻寺）

十二月 光井 栄史氏（第十六組 願善寺）

■定例法話会のご案内

毎月十三日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文中で、「この「両度の命日」についてお書きになら

れています。(四帖目十二通) 三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より(一時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師 九月〜十二月
山代 英世氏(第二十一組 浄泉寺)

別院書道教室のご案内

昨年の十月より、当別院を会場に書道教室を開催しております。受講生を追加募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 毎月二回(第二、第四水曜日)

◇時間 午後六時三十分〜八時

◇講師 木原 光威氏(新潟県書道協合理事)

◇持ち物 筆(大・小)、硯、下敷、文鎮、墨液、半紙、新聞紙

◇月謝 二五〇〇円(テキスト代含む)

AED設置について

このたび、AEDを、同朋会館一階、教化センター前に設置いたしました。



別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によつて護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たち

が、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方(団体)の、冥加金は左記のとおりです。

◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円
- ◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)
 - ・朝食代 五〇〇円
 - ・昼食代 一、〇〇〇円程度
 - ・夕食代 一、三〇〇円程度

同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記帳してください。その後、シーツクリーニング代五〇〇円とシーツを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数え

るほどしか行われていません。ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるだけご都合に合わせてますので、お気軽にご相談させていただきます。

三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いを持ち、法話や座談会(茶話会)など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多くの方に参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院くださいますよう、ご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

◆編集後記◆

保養プロジェクトの一環で、福島の子ども達十七人が来院し、「お寺宿泊体験」を行った。そんな中、疲弊しきつた裏の顔を隠し、子どもの前では気丈に振舞う仏青有志会。我々は普段色々な意味で「心地よい場所」に安住しているが、本当に人と関わろうとすると、そこから一歩踏み出すことが必要なかもしれない。(S)



【あの紙芝居のおじさんも登場!】